

2023年度 紙容器リサイクル事業に関するアンケート集計結果

開催期間 2023年4月1日(出)~6月30日(金)

実施方法 面談での紙回答及び6/1(木)以降はWebアンケート (Google フォーム)

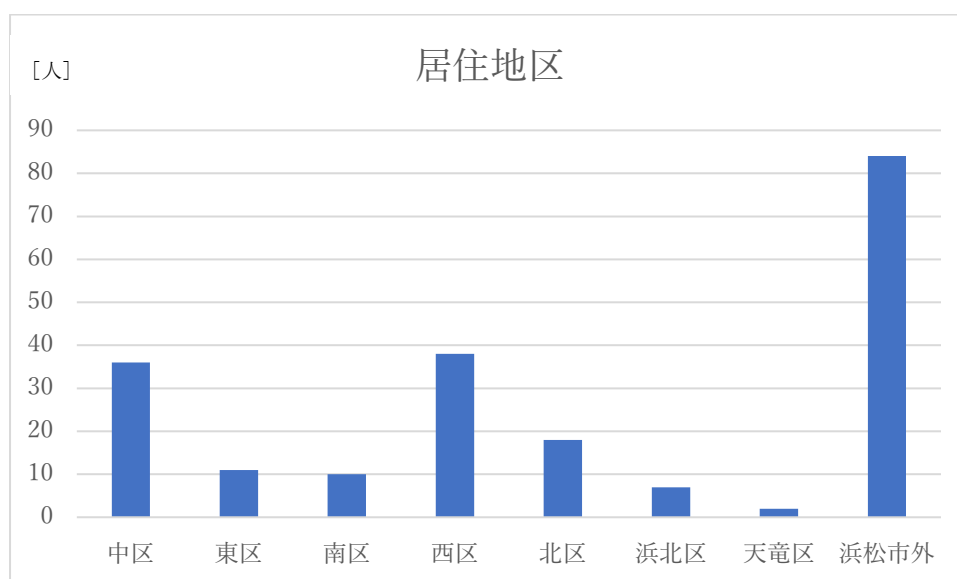
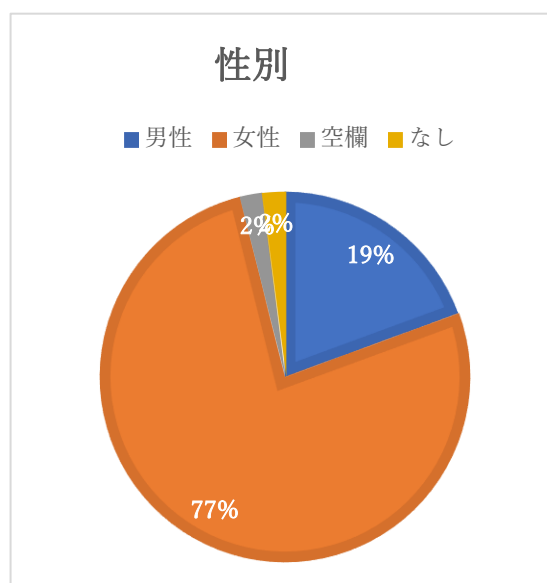
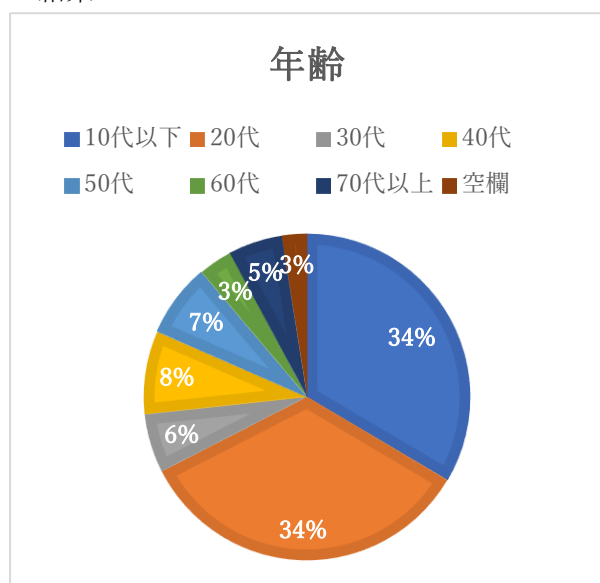
回答者 浜松市西部清掃工場 環境啓発施設「えこはま」来館者

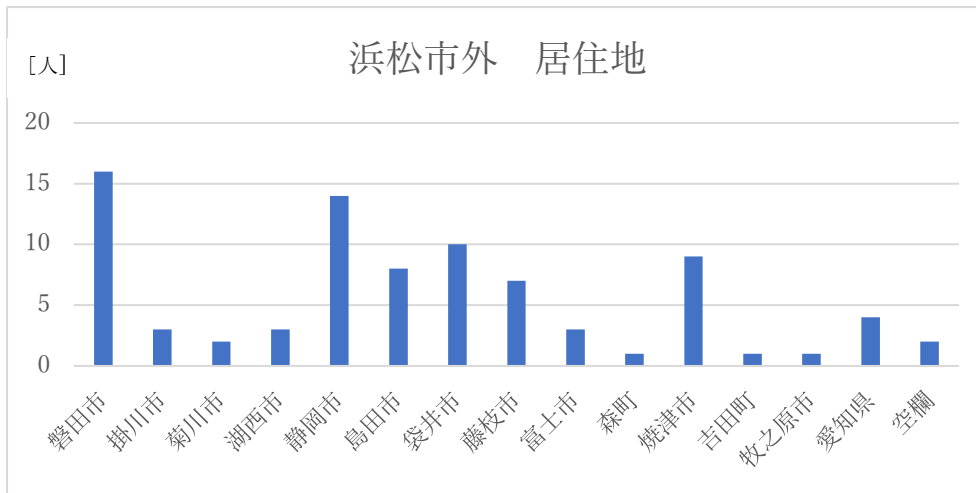
常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 学生 135名 (10代・20代)

紙容器リサイクル活動実施団体

回答者数 206名 ※浜松市外の回答者84名は、常葉大学の学生

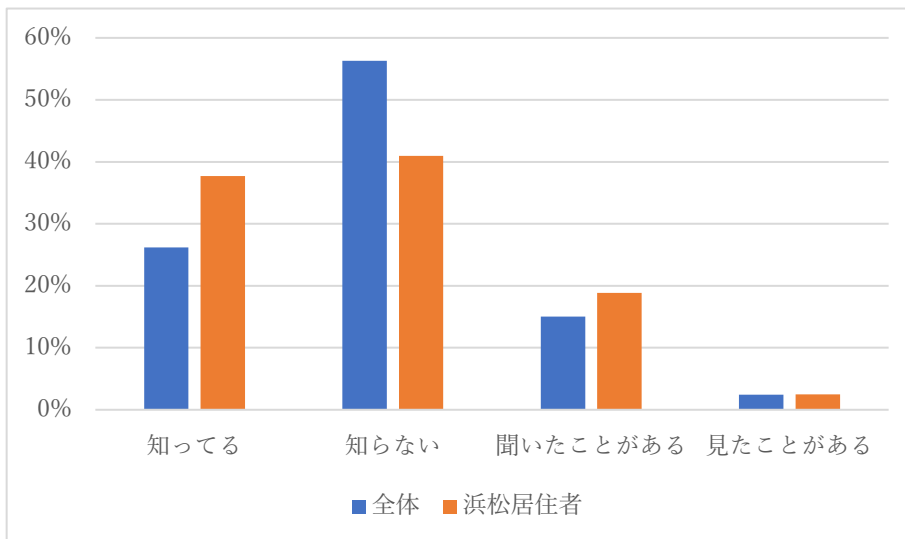
<結果>



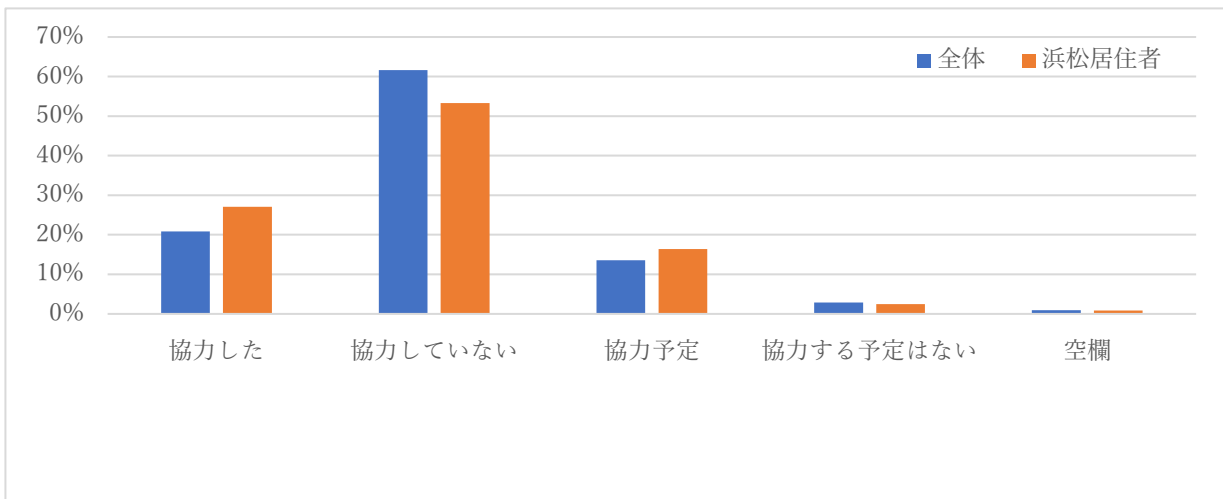


質問 1 紙容器（紙製ヨーグルト容器・紙製アイスクリーム容器・紙コップ）のリサイクル事業について

1-（1） 現在、浜松市西部清掃工場「えこはま」で行われている紙容器リサイクル事業を知っていますか？

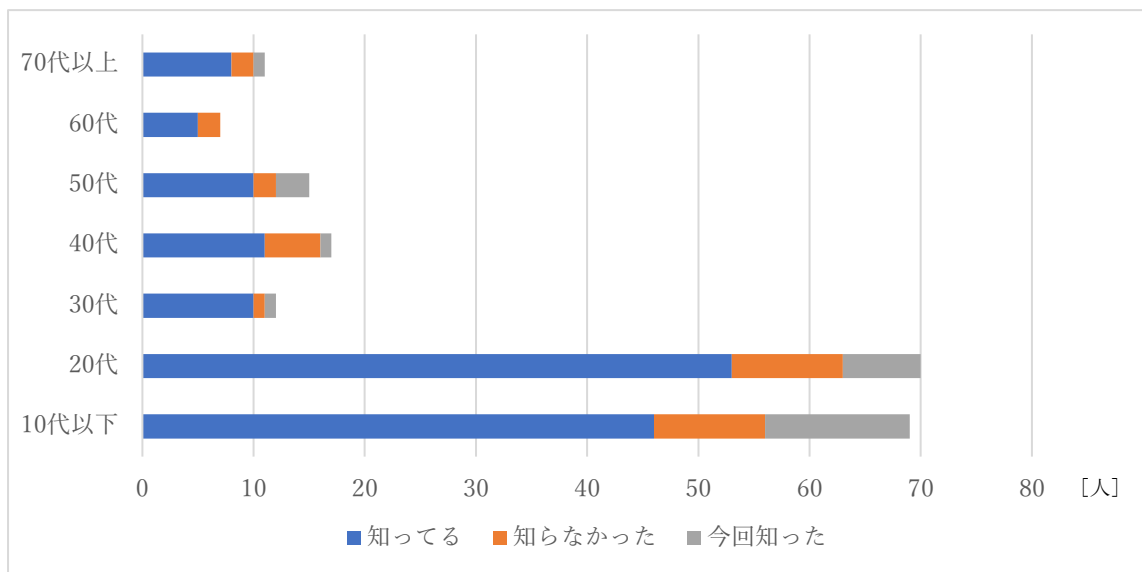


1-（2） 紙容器リサイクル事業に協力したことがありますか？



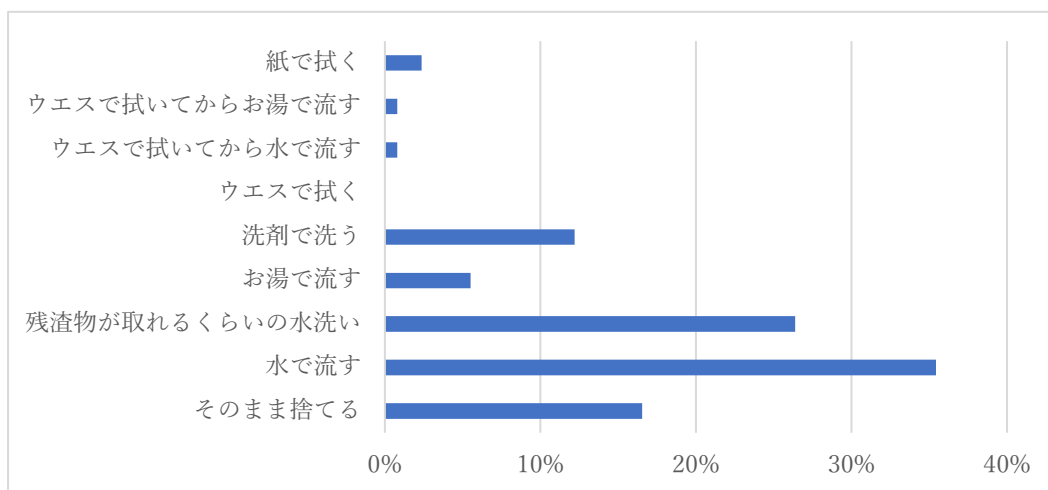
質問2 紙製カップ麺容器の処分方法について

2- (1) カップ麺容器が紙製（紙マークが付いている）の商品があることを知っていますか？

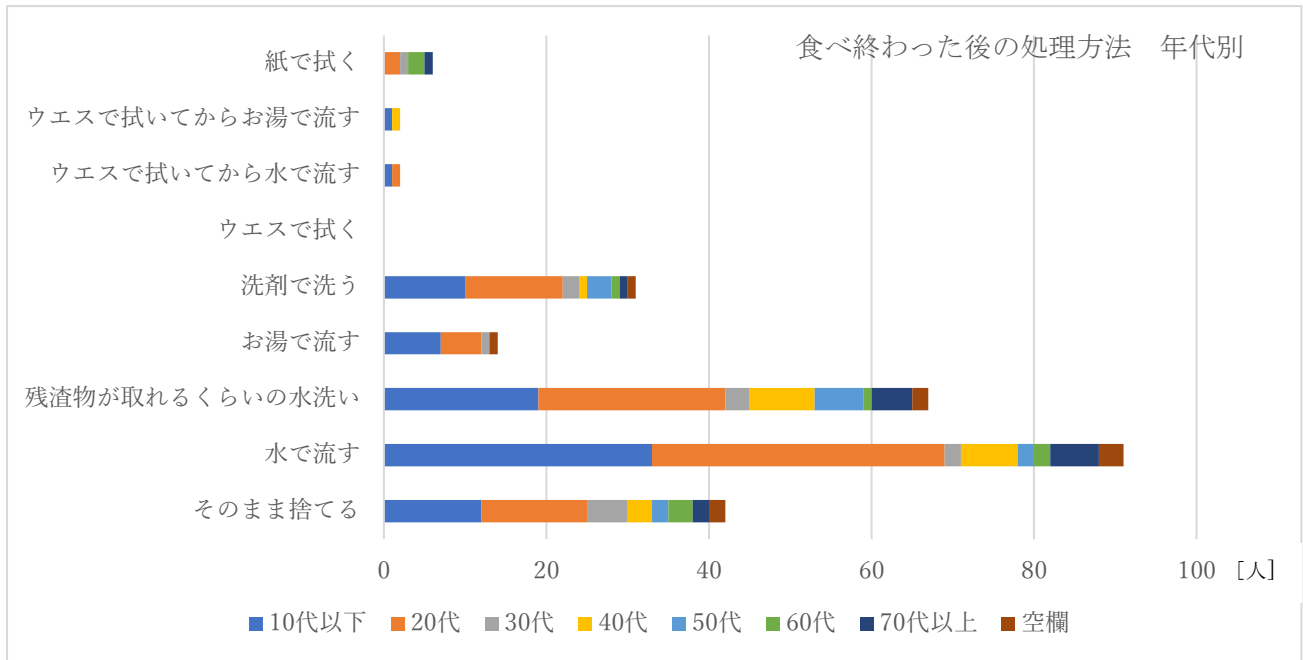


今回のアンケート結果から、全年代においてカップ麺容器で紙製の商品（紙マークが付いているもの）があることを知っている人の割合が多かった。カップ麺容器の中でも、紙製のものは市場に出回っている割合も少ないが、購入時および飲食時にリサイクルマークを確認する市民が増えたことで、認知度が上がったものとする。

2- (2) 紙製カップ麺容器について、食べ終わった後の処理方法は？（複数回答あり）



食べ終わった後の処理方法として、回答数が最も多かった順に「水で流す」、「残渣物が取れるくらいの水洗い」、「そのまま捨てる」、「洗剤で洗う」となった。既に紙容器リサイクルを実践している人も含まれるが、もえるごみとして出している人達の中には、ただ捨てるだけではなく何らかの方法で処理している人の割合が多かった。

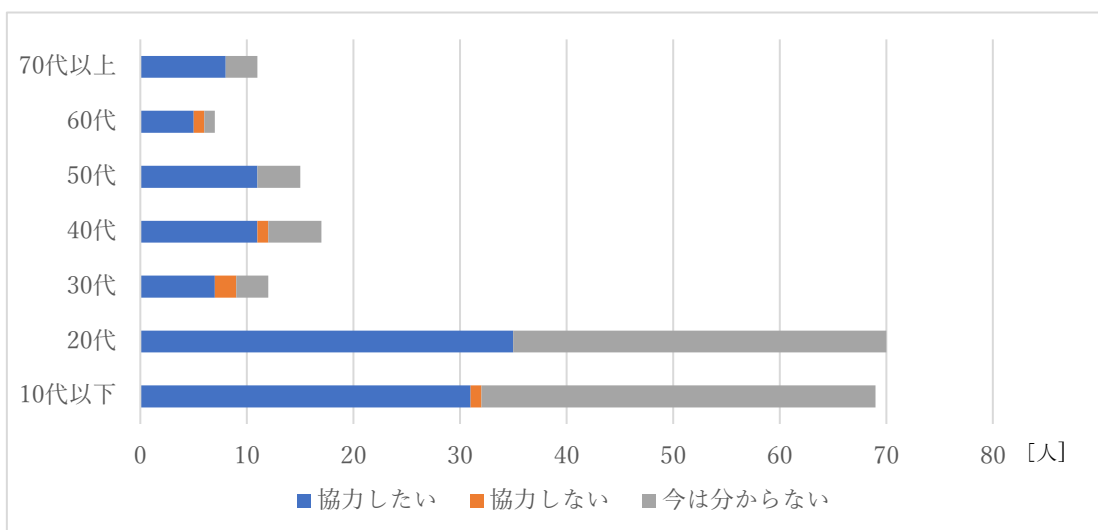


どの処理方法も年代別にまんべんなく分布していたが、最も回答数の多かった「水で流す」や「洗剤を使って洗う」を回答した人の割合は、10代以下と20代に多かった。

<自由記述>

- ・50代 女性 ほとんど食べない。
- ・50代 男性 もう何年も食べていない。
- ・50代 女性 利用したことがない。

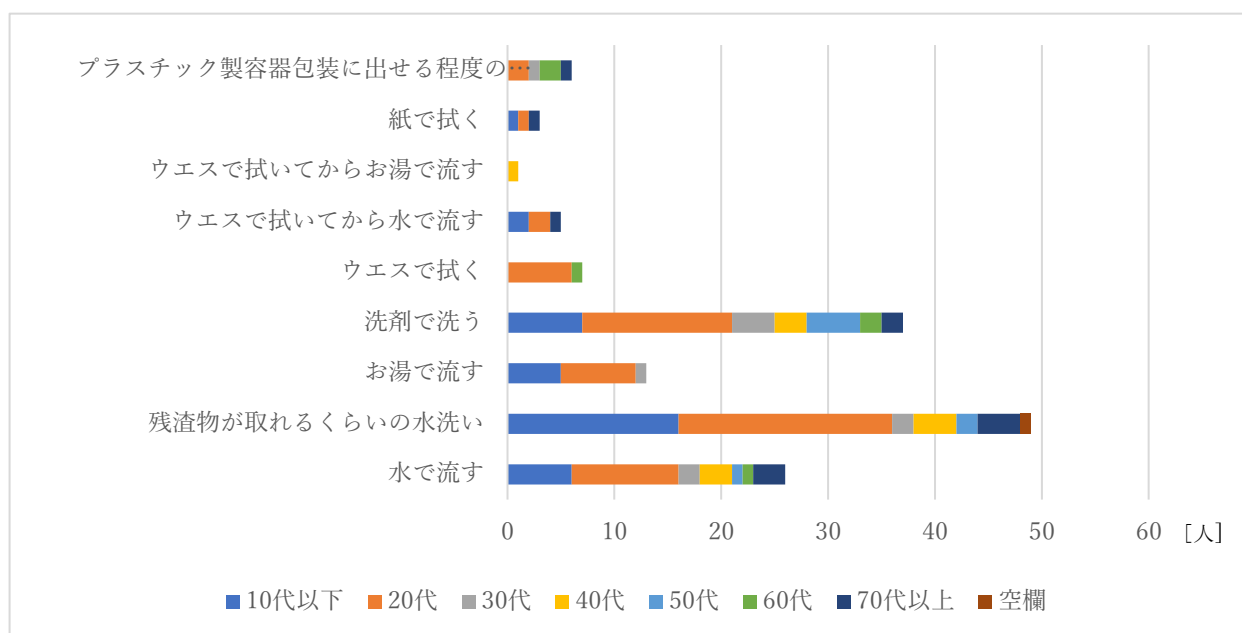
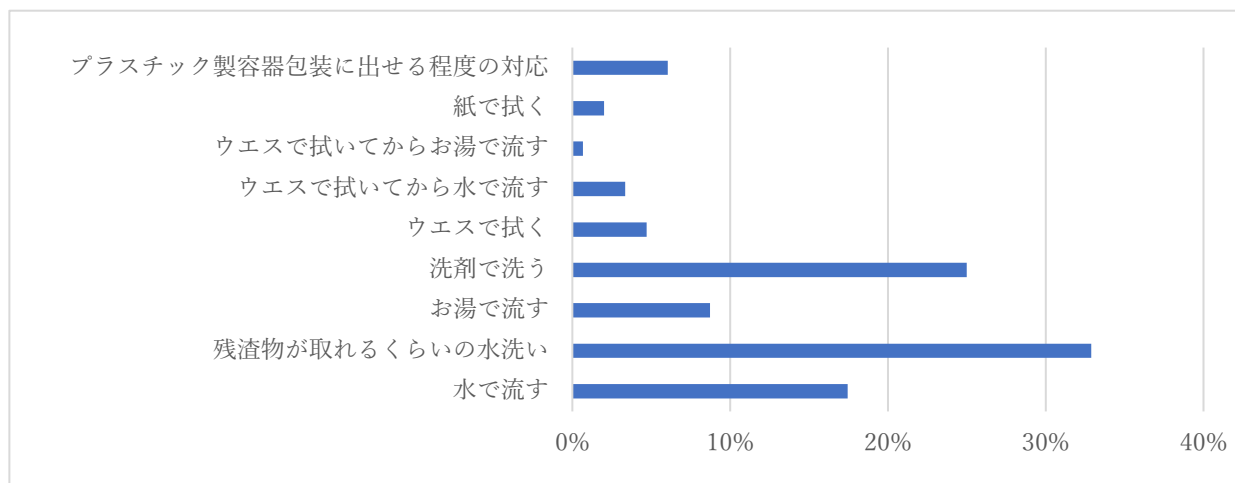
2—(3) 紙製カップ麺容器をリサイクルしたいと思いますか？



30～70代以上の年代において、紙製カップ麺容器をリサイクルしたいという人の割合が多かった。しかし、10代以下および20代では「協力しない」という割合は少なかったものの、「今は分からない」と回

答する人の割合が半数を超えていた。10代以下および20代のアンケート回答者は、常葉大学の学生が大半であり、学生および一人暮らしの人にとっては紙製カップ麺容器のリサイクルに対して、課題が大きく残る結果となった。

2- (4) (3) で協力したいと答えた方にお聞きします。どこまで容器を洗浄できますか？ (複数回答あり)



食べ終わった後の処理方法は、上位から「水で流す」、「残渣物が取れるくらいの水洗い」、「そのまま捨てる」、「洗剤で洗う」、「お湯で流す」の順となったが、紙製カップ麺容器リサイクルに協力すると回答した人たちの処理方法では、上位から「残渣物が取れるくらいの水洗い」、「洗剤で洗う」、「水で流す」、「お湯で流す」、「プラスチック製容器包装に出せる程度の対応」の結果となった。単に「水で流す」、「そのまま捨てる」という処理工程ではなく、ひと手間かけて容器洗浄に取り組んでくれる意思が表れた結果が得られた。また、「ウエスで拭く」と回答した人達の割合も増加した。

食べ終わった後の処理方法では「ウエスで拭く」と回答した人はゼロだったのに対し、実際にリサイクルするとなった場合には「ウエスで拭く」工程を選ぶ回答者が増加し、その割合は20代が大半を占めた。

また、最も割合が高かった「残渣物が取れるくらいの水洗い」は10代以下および20代の回答者が多かったのに対し、2番目の「洗剤で洗う」を回答した人達は年代によるバラつきがあまり見られなかった。

<ご意見・ご要望>

20代	紙容器リサイクル事業に協力したいと思います。
	カップ麺などの商品を買わないため、他人事に感じる。
30代	カップ麺の容器は、洗うのが面倒。水や洗剤がもったいない。
	もっと回収できる拠点を多くしてもらいたい。
40代	ごみ削減に向けて頑張りたいです。
	紙容器でも回収する物としない物があってややこしい。
	協力したい気持ちはあるが、回収場所に持っていくのを忘れ、そのままごみ箱に」捨ててしまう。
	洗うのが面倒。
50代	回収場所が限られていて。もっと多くの回収場所があるといいと思います。
	勉強になりました。
	紙製の容器ということは、分別せずに燃えるゴミとして捨てることができ楽、というのがメリットだと考えていました。ですからリサイクルのために分別してきれいに水洗いして・・・というのは非常に面倒で「紙製」のメリットがないように感じましたので、どこまで協力できるか自信がないというのが正直な感想です。
	資源ゴミとして居住地域で出せるようになるとありがたいです。
60代	水道料金が安ければ協力しますが。浜松市は高いので水は使えない。
	回収できる所がもっと増えたらいいなと思います。
	是非、湖西市でも回収して欲しいです。回収場所が増えるといいですね。
	食器の代わりに食事で使用したと思えば、リサイクルのために洗剤で洗うことには抵抗はありません。
70代	紙製のものは汚れが落ちにくいので何か良い方法？

今回実施したアンケート調査では、紙製カップ麺容器のリサイクルに対して「協力しない」、「今は分からない」と回答した人達に対する要因分析ができていない。どのような対策を講じれば、よりリサイクルに対する意識が向上するのかも含めて、今後検討する必要がある。

本アンケートの結果から、紙製カップ麺容器の市民認知が進んでいることが改めて判明した。また、30代以上ではリサイクルに対しても積極的であり、プラスチック製容器包装に出せる程度およびそれ以上の処理工程を実施または実施する意思があることも明示された。